

平成 30 年度 第 5 回学校運営協議会記録（概要）

1. 開催日時 平成 31 年 2 月 9 日（土）午後 3 時～午後 4 時 20 分
2. 会場 立川市立第九小学校 応接室
3. 参加者 古川茂一 塚田真恵 井口拓志 鳴島広之 末次圭子
小林邦子 長久保昌典 南枝弘之 野尻迅人
4. 内容
＜会 長＞ 司会
本日は、次年度の教育課程、学校経営の改善について話し合う。
＜副校長＞ 資料確認

（1）校長挨拶

- ・最後の学校運営協議会は、来年度の教育課程の編成、学校評価を踏まえた学校経営の改善について協議会の承認を得る場である。本校の教育課程には、通常の学級とくわのみ学級のものがある。
- ・3 学期は、書写の作品展や学習発表会があった。本校の学習発表会は、学芸会ではなく、1 年間で学んだことをもとに表現する場である。来校者からは、九小ならではのオリジナルな内容で、とてもよいとお声をいただいた。

（2）来年度の教育課程について

①校長より

（資料の説明）〔教育課程第 1 表・第 2 表〕

学校の教育目標は、○思いやりのある子、◎自ら学ぶ子、○たくましい子で重点目標も継続する。

I C T の研究を生かした①情報活用能力の育成、②国語を校内研究の中心に据え言語能力や読み解く力の育成、③オリンピック・パラリンピック教育の推進、④学級カスタマードの活用による生活指導の充実、⑤コミュニティ・スクール 2 年目としてのネットワーク型学校経営の充実及び働き方改革を進める。

外国語活動は、第 3・4 学年で年間 20 時間、第 5・6 学年で年間 50 時間実施し、クラブ活動は、12 回実施する。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現や、カリキュラム・マネジメントによる九小ならではの体験的な学習など立川市民科の取組の充実を図る。

②教務主任より

（資料の説明）〔教育課程第 3 表〕

来年度の年間授業日数は標準 198 日に対し 202 日から 203 日となっている。5、6 年生が 1 日多いのは卒業式出席のためである。例年は 205～209 日程度だが、来年度の特異な事情により、表のようになっている。

年間の授業時数は、3、4 年生の外国語が 20 時間になり、5、6 年生は 50 時間。外国語は年々少しずつ増えている。余剰時数は、インフルエンザなどによる学級閉鎖、台風などによる臨時休校に備えるため、国が決めた標準時数よりも多めに時数をとるといったものだ。来年度は、30 時間前後となっている。

クラブ活動が今年度までの 16 時間から 12 時間に減っている。来年度以降の市教委の考えについては分からない。

[学校行事予定表]

来年度は、5月の連休が増えていることと、10月の即位の礼が祝日になっており、2月の天皇誕生日は祝日になるかどうか決まっていないそうだ。祝日になることを前提に、翌24日を振替休業日と想定している。2学期は、8月28日始まりとしている。

<会 長>

何か質問はあるか。

Q 教育課程の1表、2表には、ベースとなるものがあるのか。

A 市からひな形が示される。各学校の基本方針をもとに重点が決まり、特色ある活動については、学校独自のものになる。新学習指導要領を踏まえた工夫についても、各校ごとに触れていく。

教務主任から話のあった第3表は通常学級のもので、くわのみ学級は第2表Bになる。くわのみ学級の年間授業日数、年間授業時数は通常学級のものと同じだが、どの教科を何時間学習するかは特別支援学級独自のカリキュラムがあり、通常学級とくわのみ学級で異なっている。

各教科の標準時数と同じ時数の教科と多い教科がある。国語、算数は標準よりも多くの時数をとっている。

Q 確かな力の情報活用能力とはどういうものか。

A インターネットの情報については、小学生向けのサイトを集めて児童が見るようにしている。ただ見て終わりではなく、その先に、それらをどう思うか、どう考えるかという学習を行い、情報を鵜呑みにさせないことも大切だ。ネットのメリット、デメリットを合わせて教えている。

A 情報活用能力とは、ICTだけを指しているのではない。本、新聞、インタビュー等、様々な情報を扱う。調べたことをどう伝えるか、表現するかや情報の引用などについても学習する。情報の真偽に関する判断力をつけることも大切だ。

Q 小学校でもアンケートはやっているか。

A 学期に1回やっている。いじめや暴力についての項目もある。

Q 親とのやり取りはあるのか。

A こういうアンケートをやっているという説明を保護者に伝えている。家で書いて、折りたたんで出すことも行っている。

Q アンケートの扱いはどうなのか。

A 基本的には担任、学年、管理職で情報共有するが、学年をまたぐ問題については、教員間で共有することもある。

<会 長>

では、次年度の教育課程の承認について、承認とするのでいかがか。

*拍手多数。

<会 長>

承認とする。

(3) 学校評価を踏まえた学校経営の改善について

①校長より

学校評価については、前回概要を伝えたが、今回は教員評価と保護者からの自由記述を資料に加えている。

学力向上については、授業が分かると感じている児童は増えたが数値的成果は上がっていない。特別支援教育については、相談活動の充実を実感した教員が目標の75%に対し、71%

にとどまった。相談活動の内容があまり変わらなかったことが一因ではないかと考えている。

特別支援教育の理解・啓発については、教員に対する理解・啓発は一定の成果が見られたが、児童に対する理解・啓発に対する評価は基準に満たなかった。

不登校への対応については、出現率はあまり変わらないものの、個別対応をきめ細やかにして欠席日数が減少した。

②教務主任より

資料4の学校評価教員アンケートよりかいつまんで報告する。

夏休みの補習教室については、2クラスの学年は担任の負担が多いが、回数は6回を維持し、交代で指導したり専科や支援員等の助けを得る。内容については、夏休みの宿題の質問も受け付けることとする。

いじめ、不登校対策については、朝会等で管理職や生活指導主任のほか、生活指導部の教員が順番で話をするようにする。

味噌づくり、夢ファーム、和太鼓については、教員の負担も大きいがそれぞれ工夫しながら継続して行っていく。

セキュリティについては、保護者用の名札を今年度1年生が購入し、順次揃えていく考えであったが、保護者アンケートで不安の声があり、来年度は全学年で揃えることとしたい。

通知表については、現在のテープ糊で貼っていく方式から、綴じ込み方式にしていきたい。協議会やPTAの声を聞きながら、進めていきたい。

③副校長より

資料5の学校評価保護者アンケート自由記述について報告する。

1と2は、子供たちの歩き方について、広がって歩く、車が来てもよけないという指摘があり、きっちりと指導していく。ご家庭、地域などでも声かけをお願いしたい。

3は、下校時に1年生はシルバーさんがついているが、2年以上は付いていなくて心配、シルバーさんや先生にも通学路に立ってもらいたいというものだ。これについては、PTAやシルバーさんの声を伺い検討していく。

4は、放課後、校庭に来た子供がチャイムで早く帰るよう先生に伝えてもらいたいというものだ。声かけを継続していく。

5は、セキュリティについてで、保護者が名札をつけ、門に警備をつけて欲しいというものだ。名札は、来年度前向きに進める。門に警備をつける点は、人を増やすことは難しい。監視カメラと施錠で対応していく。

6は、北側の銀杏の木が災害時に心配というものだ。

<意見>

北側の木は、教育委員会の所有だ。もう一本銀杏の木があったが、依頼されて切った。地域から切りたくないとの声もある。銀杏の木があるから車が入って来ない、というよい面もある。学校の敷地外ではなく、市が管理している。

<副校長>

こういう声があると、市には伝える。

7は、重いランドセルについてだが、主に個別対応とする。

8は、インフルエンザ等はリアルタイムで発信して欲しいというもので、迅速な発信に努めていく。

9は、授業に集中できておらず、授業参観以外でも見に行きたいというものだ。希望をお知らせいただければ、授業を参観していただいで支障はない。

10は、土曜参観の希望だが、年に5回くらいやっている。週6日の登校となると子供にも厳しいので、増やすことはしない。

11は、2学期の始まりを遅くとのことで、来年度は8月28日をスタートとする。

12は、メール発信は緊急に限るべきという意見で、原則そのように対応する。

13は、(小中)連携の取組をブログや紙で発信してほしいとのこと。ホームページで発信しているが、これからも充実を図る。

14は、写真のネット販売についての要望だが、ネット環境は家庭間で差があり、意見を伺って考えていきたい。

<会 長>

質問はないか。

Q名札については、PTAからの声もある。1年生に配られたが扱いをどうしたらよいか、配る時に説明はされているだろうが、浸透していない。今度配る時は、名札の主旨を説明すべきだ。

・今年度、一つの学年だけに配られたので、迷いもあったかと思う。名札付けへの心配の声は多かった。来年度は全員つけることとし、全校に便りを配り、周知する。近隣の小学校でもやっていると聞いている。忘れた場合は、受付の名札をつけてもらう。費用は私費を考えている。

*PTA会費で購入してはどうかという意見や、来年度は全校が私費で購入し、再来年度からPTA会費で購入する意見等が出された。

(4) 今年度の学校運営協議会の成果と次年度に向けて

- ・学校運営協議会で九小は先行したが、いいスタートが切れたと思う。
- ・先生方と懇談できたのがよかった。もう1回やってもよいかと思う。

(5) その他

①平成31年度学校運営協議会の予定案

<校 長>

(資料6の説明)

- ・委員の任期は31年6月1日から32年5月31日となる。今年度と同様のスケジュールを予定案として作成した。第1回は6月21日(金)か7月5日(金)のいずれかで実施したい。教員との懇談は、教員がいる時間でないと難しい。
- ・五中学区合同の協議会を開催してはどうかとの意見を伺っている。そうしたことも実現できるとよい。

(立川市学校運営協議会設置スケジュール)

6月4日(火)が任命式、7月27日(土)が協議会委員全体研修会で決まっている。

任期は1年ごと。名簿は同じように選出する。

②九小の約束

<生活指導主任>

- ・九小の約束を配った。当たり前のことは書かずに内容を絞ることを考えている。

③学校評価事項と回答

<副校長>

アンケートの記入を今月いっぱいをお願いしたい。

<会 長>

1年間ありがとうございました。学校運営協議会が更に発展していくよう、お願いしたい。
以上。